



旭化学工業株式会社

(証券コード:7928 東京証券取引所スタンダード市場)



2024年8月期 決算説明資料

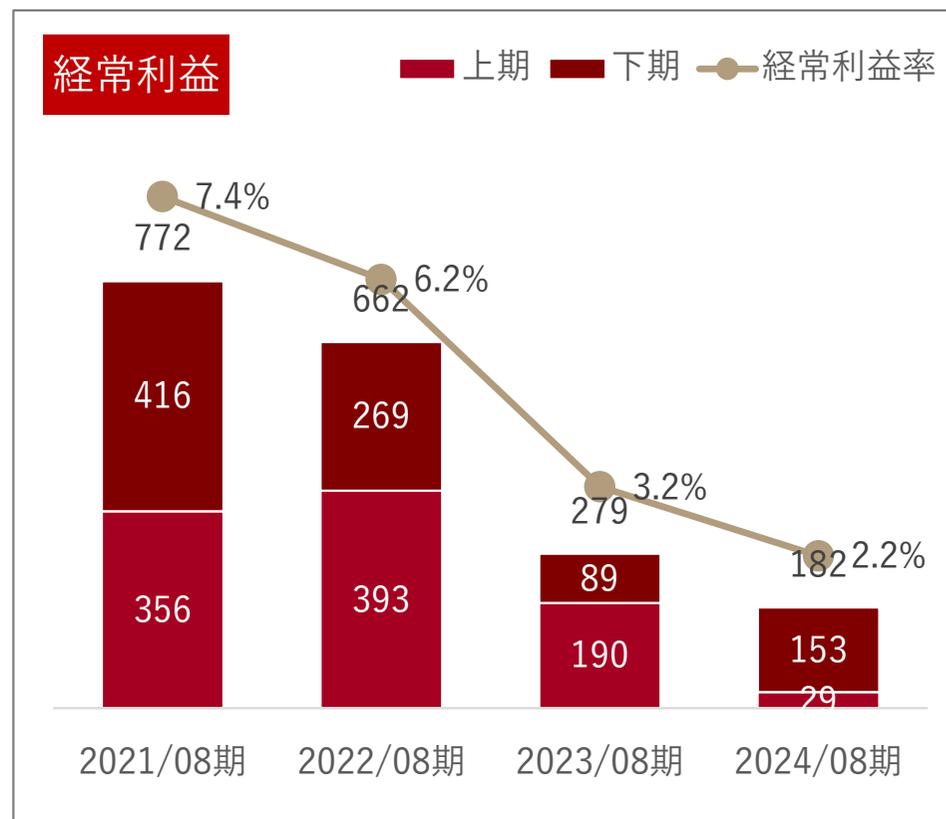
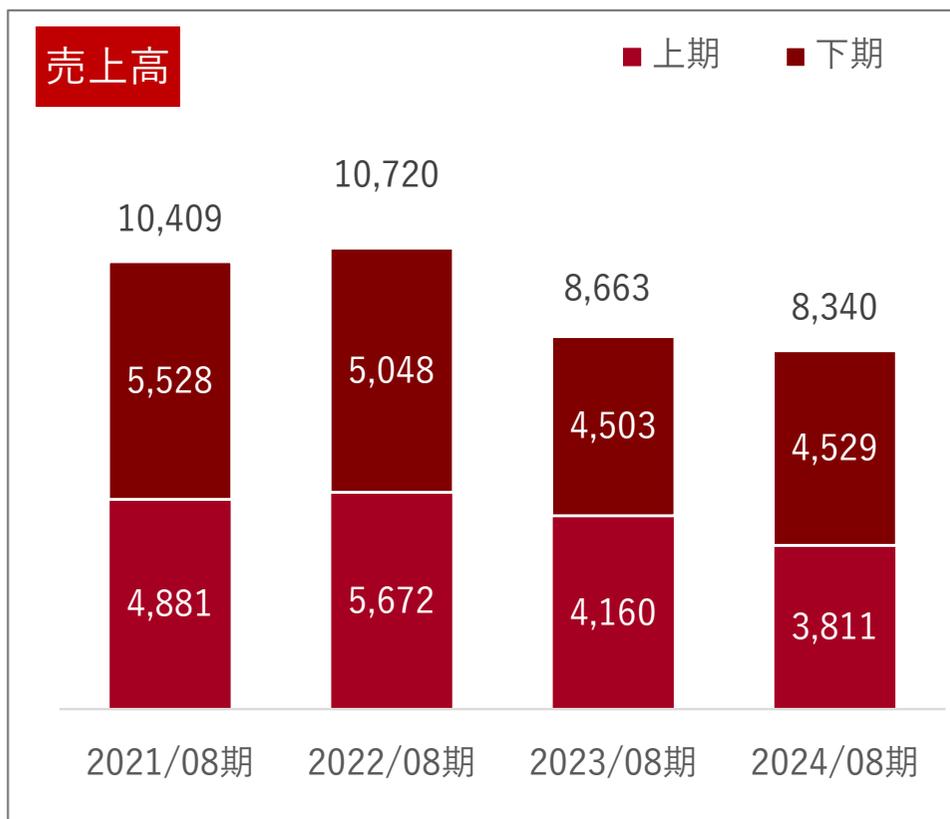
<https://www.asahikagakukogyo.co.jp>

2024年 8 月期(連結) の業績

2024年8月期(連結)の業績概要

- 売上高については、自動車部品は半導体供給不足が解消され堅調に推移しました。電動工具部品は2024年3月頃より取引先の在庫調整が解消され成形品の受注は増加しました。しかし、金型の新規受注は厳しい価格競争より減少しました。
- 利益については2024年6月以降に受注単価の交渉により製品単価の値上げがあったものの、運搬費上昇、人件費上昇、物価高など厳しい状況であった。製造工程については継続して自動化に取り組んでおります。

| | 2023/08期 | | 2024/08期 | | | | | | | | |
|----------------------|----------------|----------------|--------------|---------------|------------|------------|-------------------|-------|------------|------------|--|
| | 第2 四半期 | 通期 | 第2四半期 | | | | 通期 | | | | |
| | | | 予想 | 実績 | 前期比 (%) | 予想比 (%) | 修正予想 (4月12日開示) | 実績 | 前期比 (%) | 予想比 (%) | |
| (百万円) | | | | | | | | | | | |
| 売上高 | 4,503 | 8,663 | 4,100 | 3,811 | ▲15.4 | ▲7.0 | 7,700 | 8,340 | ▲3.7 | 8.3 | |
| 売上総利益 (売上高総利益率) | 513 (11.4%) | 898 (10.4%) | | 316 (8.3%) | ▲38.4 | | | 750 | ▲16.4 | | |
| 販管費 | 363 | 728 | | 344 | ▲5.2 | | | 712 | ▲2.1 | | |
| 営業利益 (営業利益率) | 149 (3.3%) | 169 (2.0%) | 55 (1.3%) | ▲28 — | — | — | 5 (0.1%) | 37 | ▲77.7 | 640 | |
| 経常利益 (経常利益率) | 190 (4.2%) | 279 (3.2%) | 85 (2.1%) | 29 (0.8%) | ▲84.7 | ▲65.9 | 150 (1.9%) | 182 | ▲34.8 | 21.3 | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 83 | 23 | 40 | 23 | ▲72.3 | ▲42.5 | 110 | 93 | 307.7 | ▲15.5 | |
| 1株当たり配当 | 10.0円 | 3.0円 | | 5.0円 | | | 7.0円 | 12.0 | ▲7.7 | 0% | |
| 配当性向 | | 176.8% | | | | | 34.1% | 40.0 | ▲77.4 | 0% | |



貸借対照表及び設備投資の状況

| (百万円) | 2023/08期 | 2024/08期 |
|--------|----------|----------|
| 資産合計 | 6,437 | 6,954 |
| 流動資産 | 3,827 | 3,583 |
| 固定資産 | 2,609 | 3,370 |
| 負債合計 | 1,291 | 1,420 |
| 流動負債 | 1,082 | 1,231 |
| 固定負債 | 208 | 189 |
| 純資産合計 | 5,145 | 5,534 |
| 株主資本 | 4,073 | 4,142 |
| 自己資本比率 | 79.9% | 79.6 |



2023年11月取得 本社工場 射出成形機1300 t

設備投資

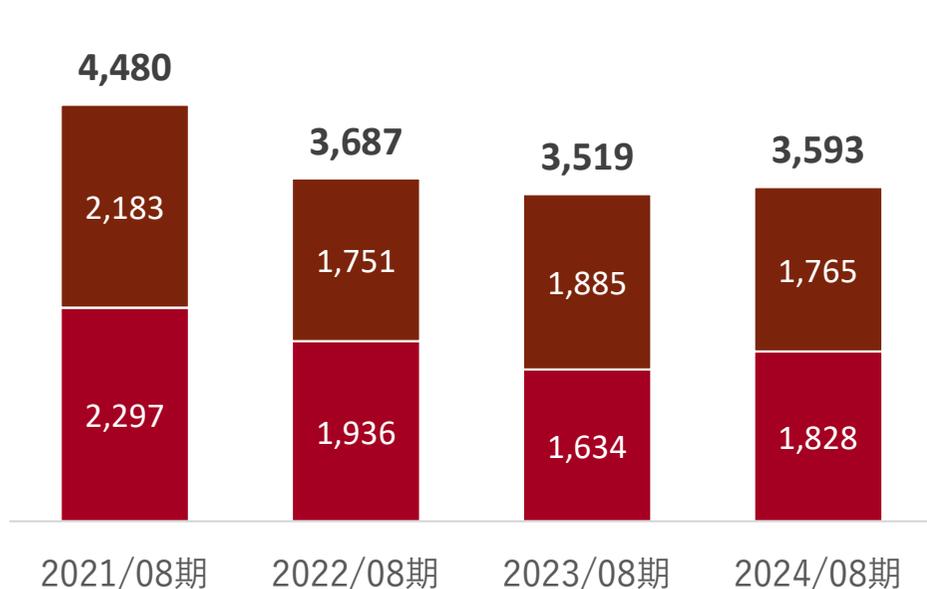
| | | | |
|----|---------------------|------------------------|----------|
| 国内 | 旭化学工業株式会社 | 成形機、生産附属設備、安城工場事務所改修工事 | 2億4500万円 |
| 中国 | 旭日塑料制品（昆山）有限公司 | 生産附属設備、マシニングセンター | 4,800万円 |
| タイ | ASAHI PLUS CO.,LTD. | 生産附属設備 | 1,000万円 |

地域別の状況[国内]

- 受注は低水準であった電動工具部品が、2024年3月からは増加し安定してきた。自動車部品については堅調に推移
- 新規に受注した自動車部品のため今期に成形機1300 t を1台購入、利益率の高い大型製品を継続して受注していく
- 安城工場の事務所改修工事を実施
- 2024年10月に研究開発施設（植物工場）を本社（愛知県碧南市）内に建設

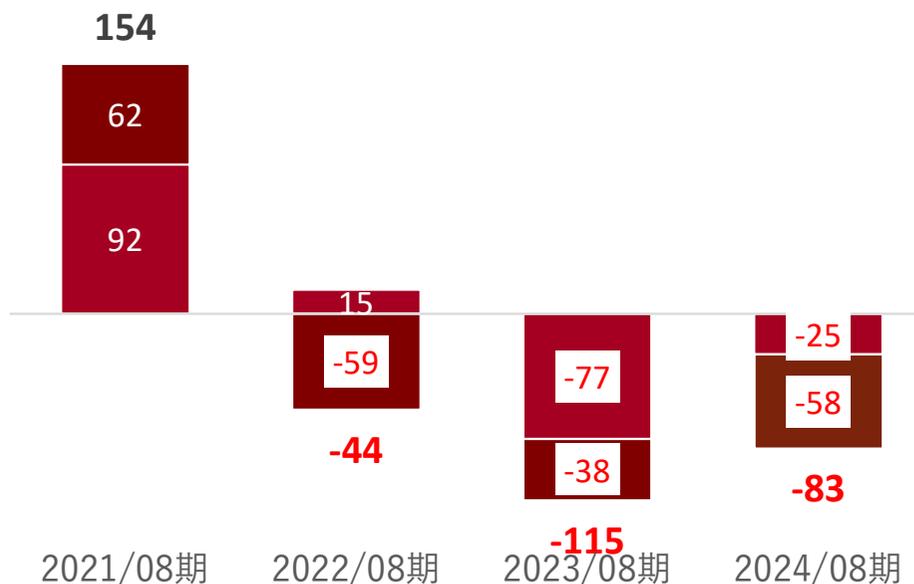
売上高

■ 上期 ■ 下期

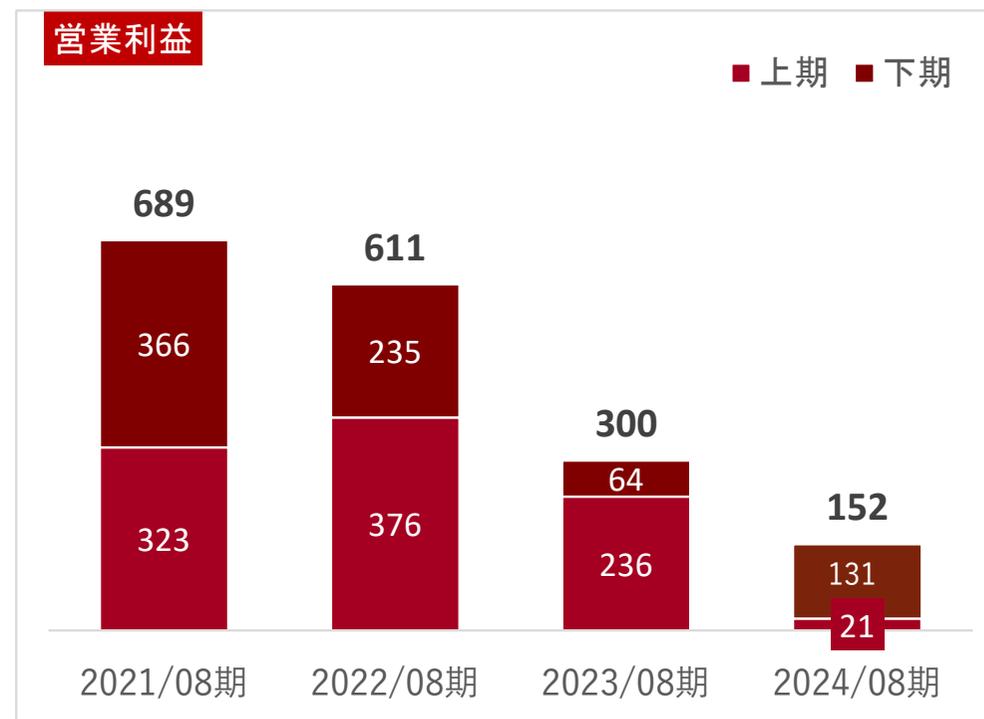
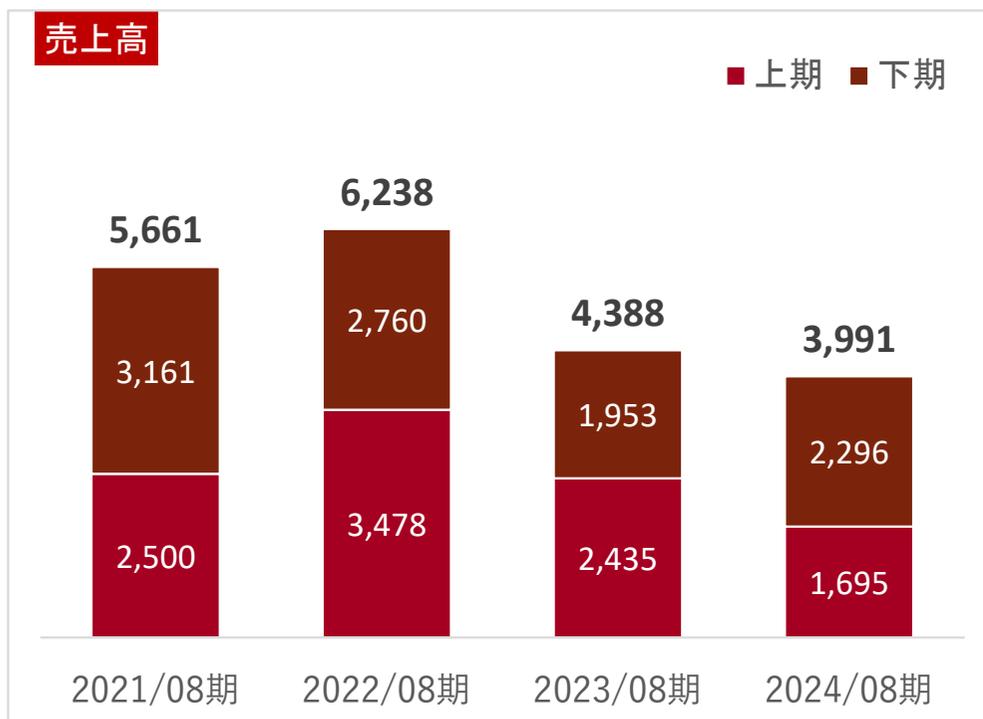


営業利益

■ 上期 ■ 下期



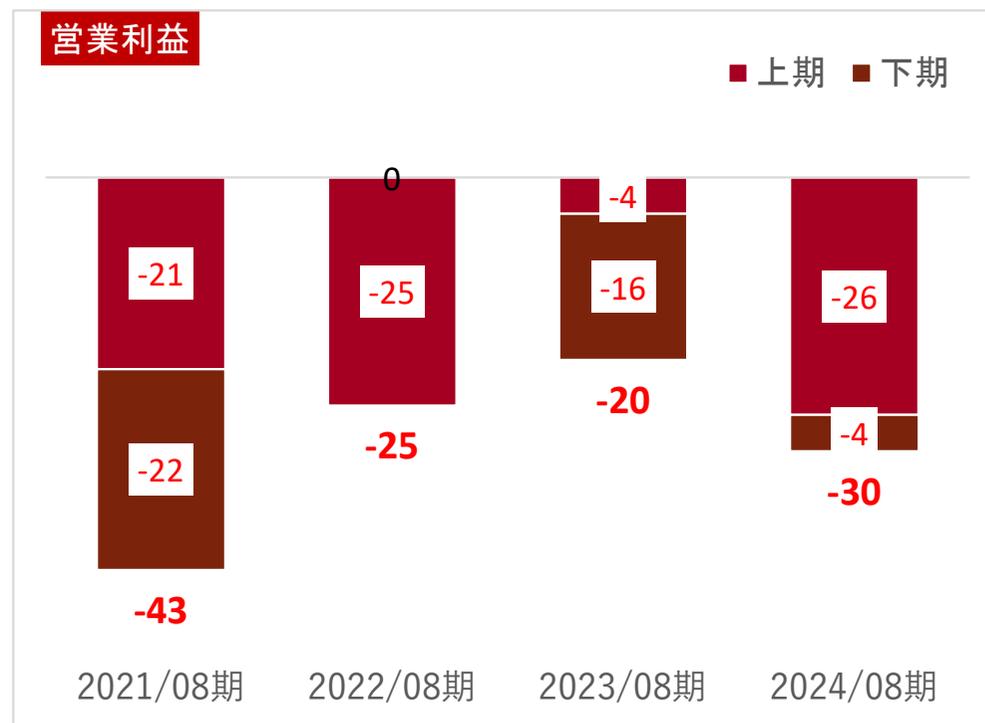
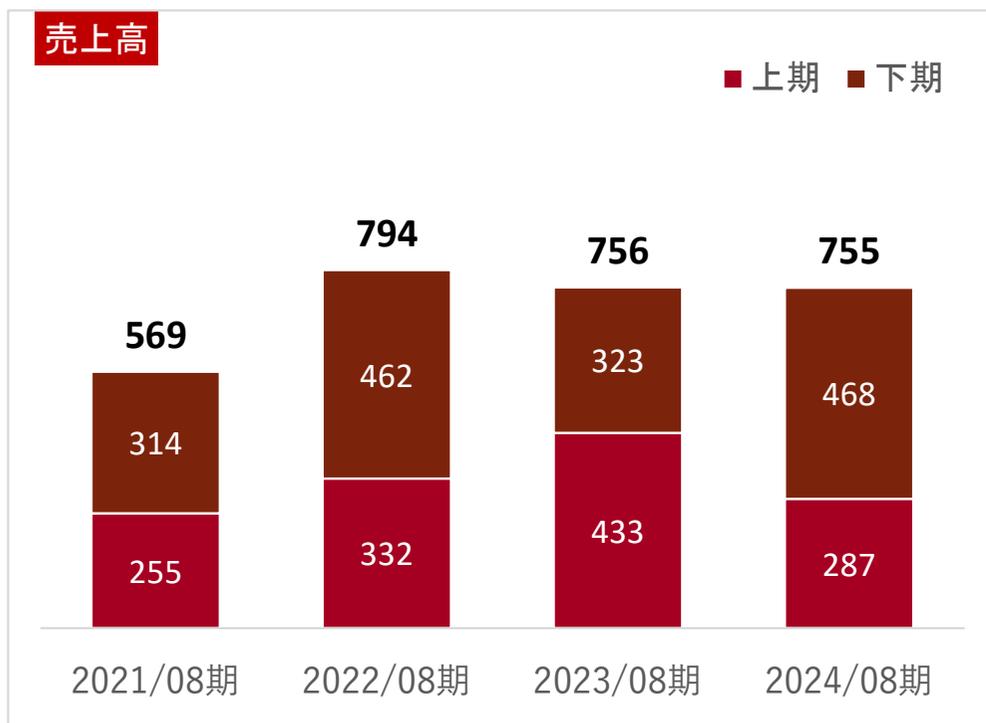
- ・ 生産管理システム導入により情報の共有化
- ・ マシニングセンターを導入し金型部門強化、品質の向上を実現



想定為替レート

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 17.11 | 20.35 | 19.96 | 22.35 |
|-------|-------|-------|-------|

- 成形機を2024年9月に1台、10月1台導入、生産能力13%UP
- 印刷工程の内製化を実施し工場稼働率を上昇へ



想定為替レート

| | | | |
|------|------|------|------|
| 3.44 | 3.85 | 4.07 | 4.36 |
|------|------|------|------|

新工場建設延期

2021年10月12日に当社連結子会社である旭日塑料製品（昆山）有限公司に新工場の建設を決定いたしました。取引先の在庫調整により受注が大幅に減少するなど、事業環境が不透明であることを勘案し工場の建設を中止することを決定いたしました。

建設を中止する新工場の概要

建設場所 中華人民共和国江蘇省昆山市

敷地面積 27,257 m²

建設予定面積 12,500 (延べ) m²

株主優待制度及び下限配当制の導入

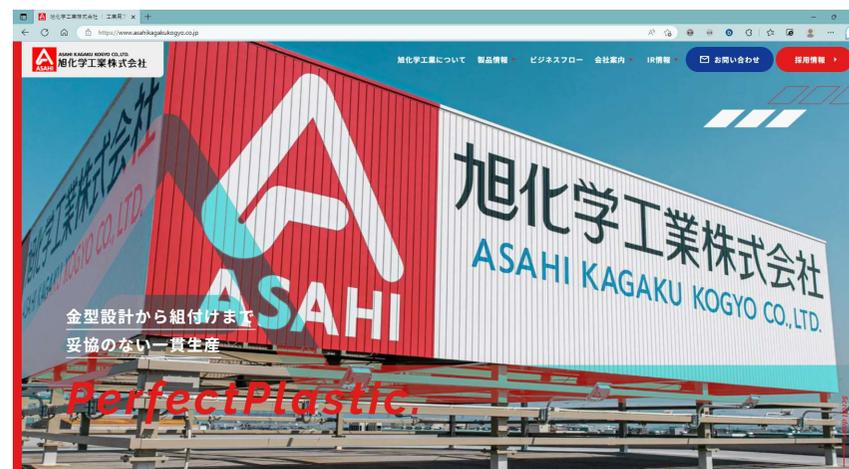
当社株式への投資の魅力を高め、より多くの皆様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入致しました。

- 8月末時点において、100株以上の株主様を対象に1,000円分のQ U Oカード贈呈

また、下限配当制を導入致しました。

ホームページのリニューアル

2024年4月当社HPをリニューアル致しました。



2024年5月 新商品を販売開始

ALC※1)パネル専用めねじ樹脂アンカーの「BIG Anchor1/2 Mk-II」をリリースいたしました。

※1) ALCは高温高圧蒸気養生という独自の製法による軽量気泡コンクリート建材です。軽さと強度、断熱性をあわせ持ち、現代建築に欠かせない建材です。

特徴

- 開きが確実に簡単に施工可能コーン打込み式。
- 強い引張力・保持力を誇る4段突起採用。
- 6ナイロン樹脂製で耐候性、耐熱性、耐衝撃性、耐薬品性に優れる。



～ALCパネルへの実使用例～

- 共同住宅、商業施設 壁面 等



**ALCに対して食い付き
抜群の保持力**



施工断面

2024年8月 安城工場事務所のフロア改装工事の実施

安城工場のフロアの改装工事を行いました。

職場環境の改善により、優秀な人材の確保と業務の円滑化につなげていきたいと考えております。



SDGs：植物プラントの開始

二酸化炭素排出削減の取組みとして、本社工場の一角で植物プラントを開始いたしました。



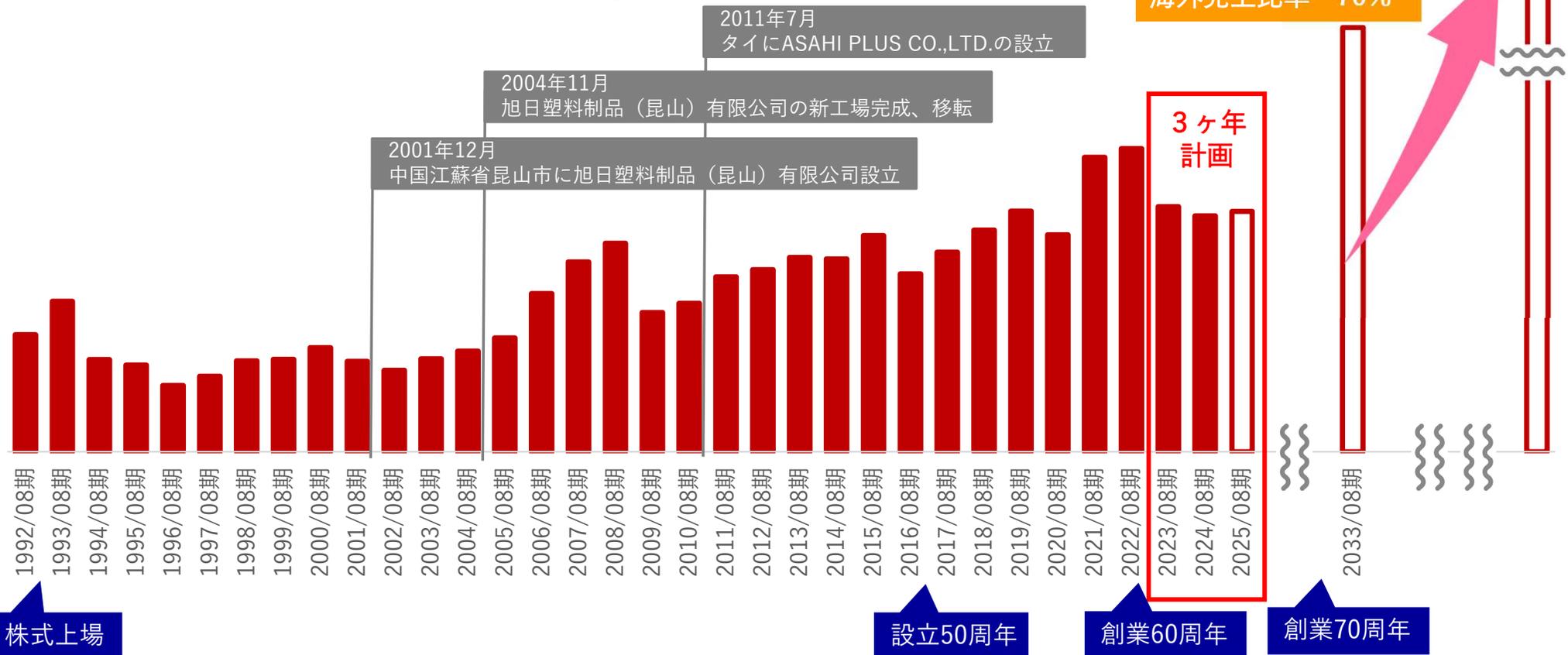
当社が目指す姿と 中期経営計画

当社が目指す姿と中期経営計画

(2023年8月期～2025年8月期)

当社グループは、
 海外売上比率80%を超える
 グローバル企業を目指しており、
 グループの成長を牽引できる
 グローバル人材の育成に力を入れています。

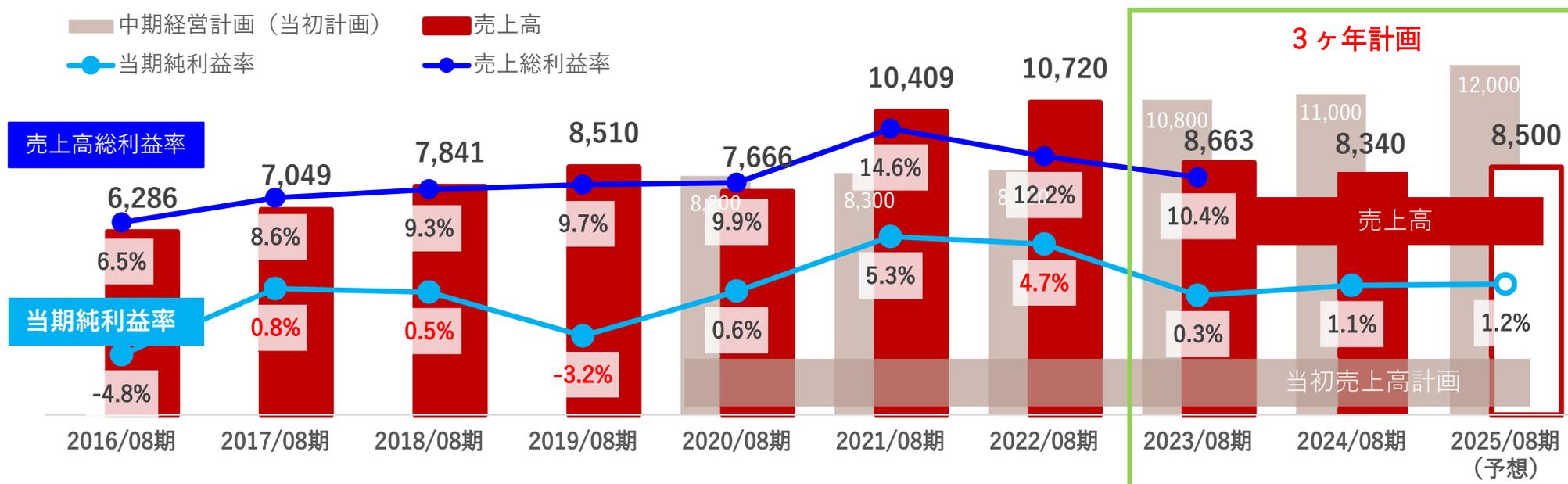
【当社の目指す姿】
 売上高 300億円
 海外売上比率80%を超える
 グローバル企業へと成長



中期経営計画

グローバルで活躍する企業を目指しているものの、地政学的リスクは中長期的に継続するとの見地から、当社グループを取り巻く受注環境はより一層厳しくなると想定され、中期経営計画を下方修正しております。

| | 2023/08期 | | 2024/08期 | | 2025/08期 (予想) | |
|---------------------|----------|-------|----------|-------|---------------|-------|
| | 第2四半期 | 通期 | 第2四半期 | 通期 | 第2四半期 | 通期 |
| 売上高 | 4,503 | 8,663 | 3,811 | 8,340 | 4,300 | 8,500 |
| 売上高総利益 | 513 | 898 | 316 | 750 | | |
| 売上高総利益率 | 11.4% | 10.4% | 8.3% | 9.0% | | |
| 営業利益 | 149 | 169 | ▲28 | 37 | 20 | 70 |
| 経常利益 | 190 | 279 | 29 | 182 | 55 | 180 |
| 経常利益率 | 4.2% | 3.2% | 0.8% | 2.2% | 1.3 | 2.1 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 83 | 23 | 23 | 93 | 10 | 100 |
| 当期純利益率 | 1.8% | 0.3% | 0.6% | 1.1 | 0.2 | 1.2 |



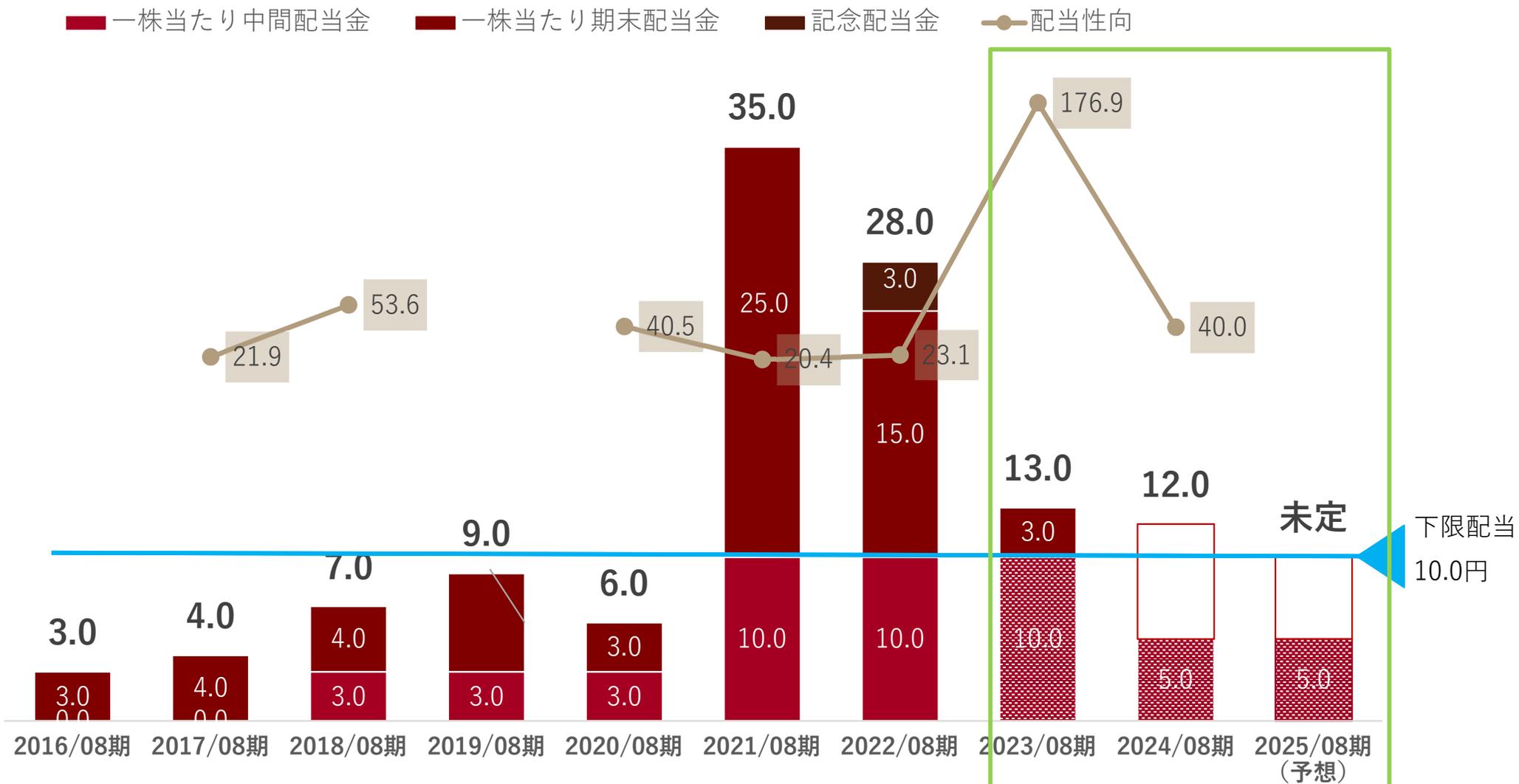
テーマ

グローバル競争力の強化と人材育成

| 重点施策 | 実施する取組み | KPI | 評価 | 実施状況 |
|---|--|--|----|--|
| 技術者の育成 若手技術者と グローバル人材の育成 | 各種資格取得支援の社内推進 社外講習会への参加推進 能力重視した人事評価と適材適所の組織体制 | 日本 射出成形技能士資格取得 (1級2名 2級5名) 中国 社内独自の資格制度試験実施 タイ 社外セミナー参加 | △ | 取引先工場見学実施 (自動化設備、品質管理) 日本 射出成形技能士資格取得 (2級5名) |
| 生産性の向上 高品質で量産性の高い成形技術の確立、グループ全体最適化の実現 | 生産工程及び品質管理の自動化 中国第3工場の稼働 タイ工場の生産能力の拡充 | 製造効率改善 売上高総利益率20% 経常利益率7% | △ | 生産工程の自動化設備導入 売上高総利益率9.0% 経常利益率2.2% 中国第3工場建設中止 |
| 利益率の改善 | 自社商品の開発 多色成形機を活用した高付加価値製品の提供 | 自社商品売上高40%増加 製造効率改善 | ○ | 自社商品の新製品販売開始: ビッグアンカー1/2 Mk-II (2024年6月) |
| サステナビリティの推進 持続的社会的の実現に貢献すべく、社会価値の共創 | ハラスメントなど各種研修実施によるガバナンス強化 多様性を尊重した職場づくり 二酸化炭素排出量のゼロを目指した取組み開始 | 国内育休取得率30% 国内太陽光発電設備設置 女性管理職 (グループ全体7名) | ○ | 国内育休取得率75.0% 女性管理職 (グループ全7名) 脱炭素スクール参加 |

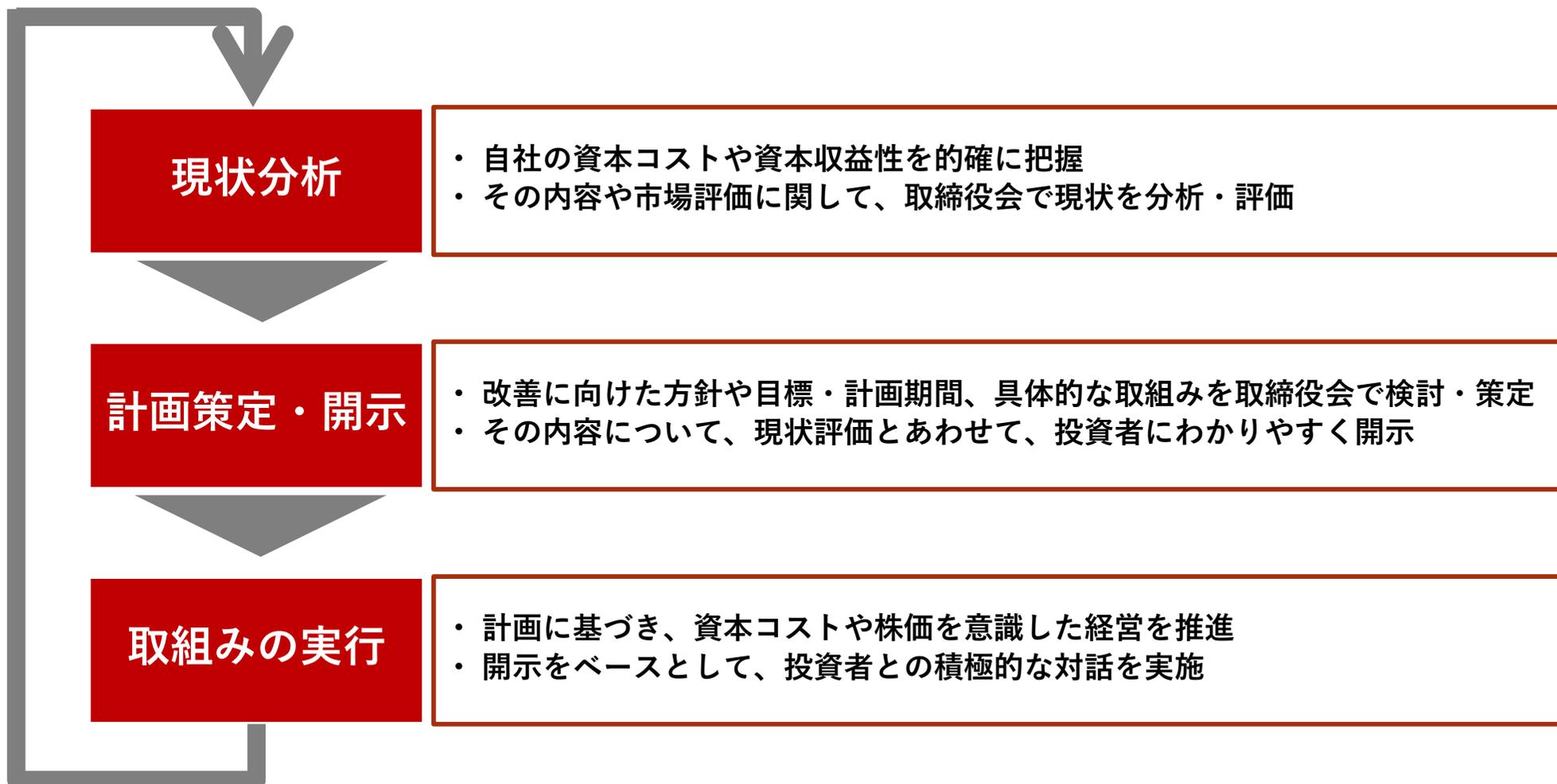
株主還元方針

財務基盤を堅持しつつ、継続的な株主還元を実現するため、将来の成長投資と株主還元のバランスに基づき、配当性向30%を基本方針としております。
また、下限配当を10円と設定しております。



資本コストや株価を
意識した
経営の実現に向けた
対応について

東京証券取引所の要請に従い「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関して、2023年8月期～2025年8月期の中期経営計画に基づいた当社の計画についてご説明します。

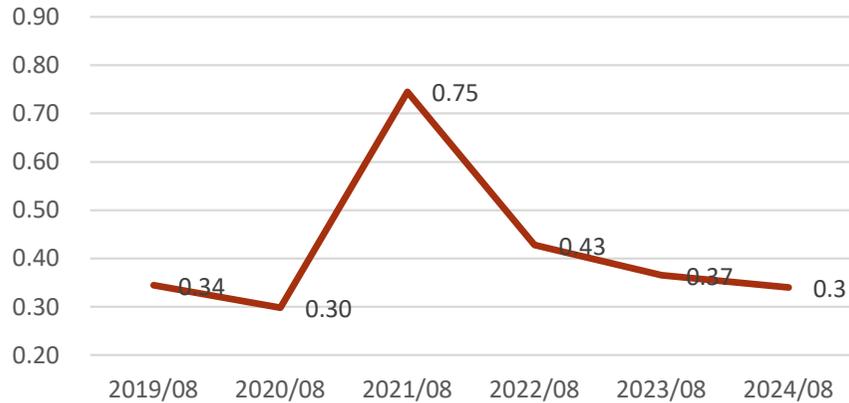


現状分析：PBRとROEの推移

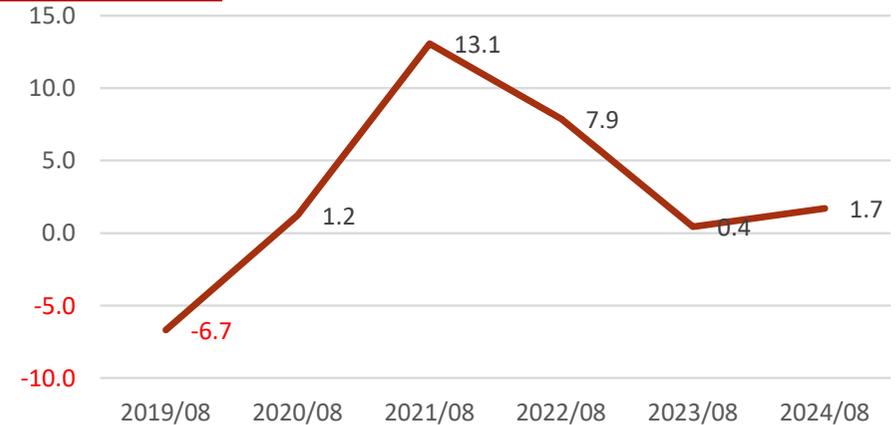
$$PBR = ROE \times PER$$

中期経営計画において目標としているROE 10%に対し、2024年8月期のROE 1.7% PBRは平均、0.5倍を下回っており、この2年は0.4倍を下回って推移している。

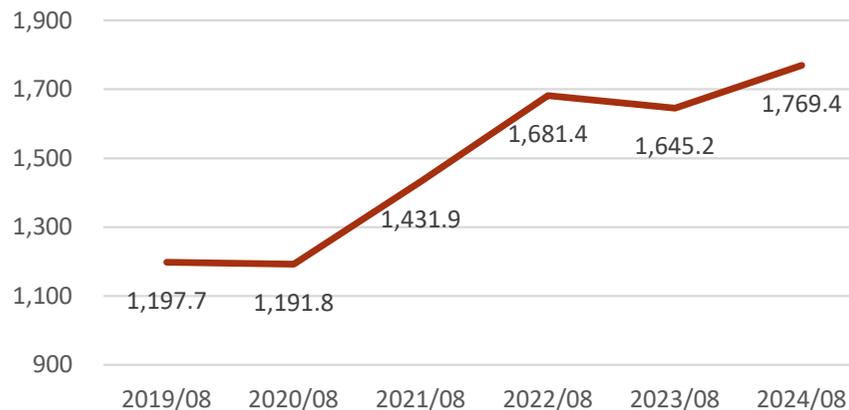
PBR(倍)



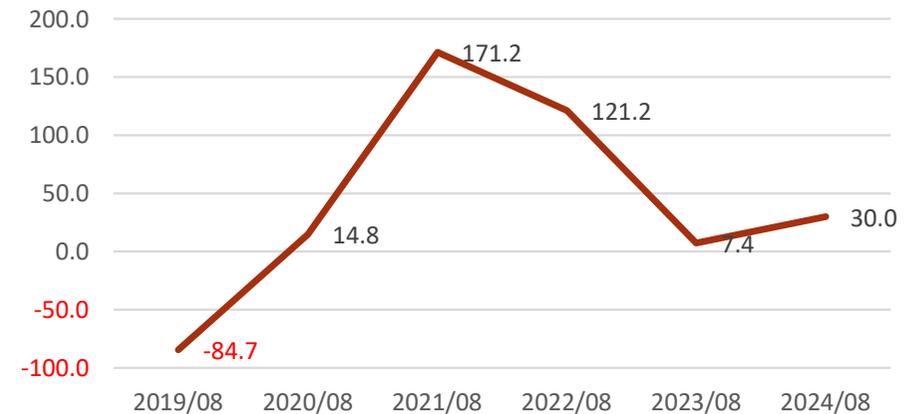
ROE(%)



BPS(円)



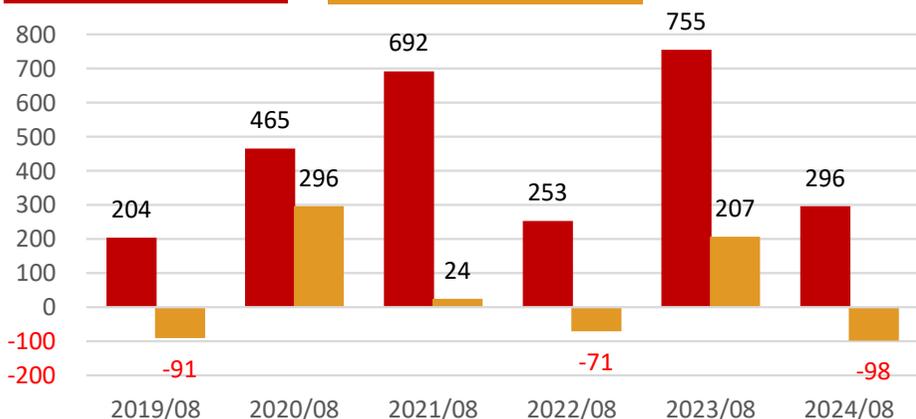
EPS(円)



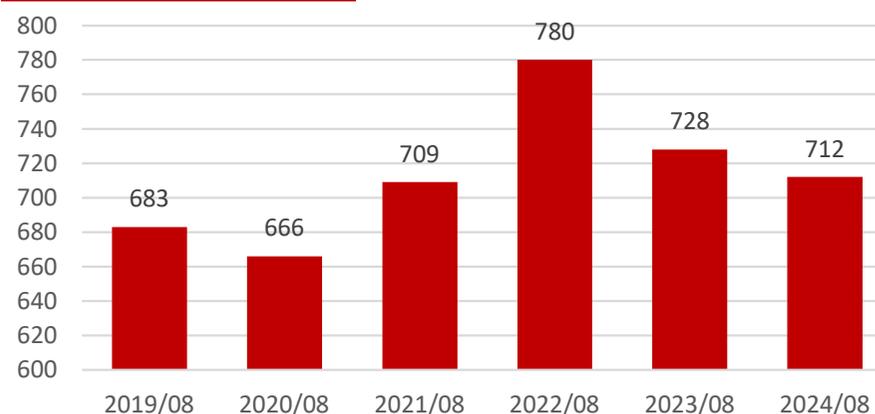
現状分析：キャッシュの状況

2022年8月期及び2024年8月期に高付加価値製品の製造・開発のための積極的な設備投資を行ったため、フリーキャッシュが減少。

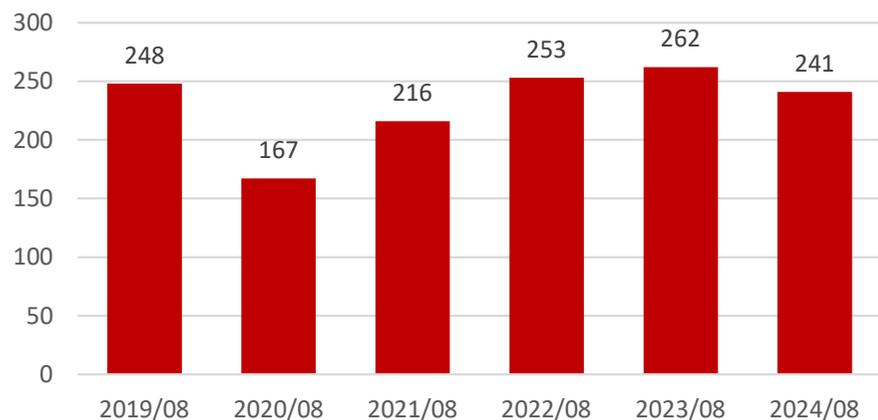
営業CF(百万円)



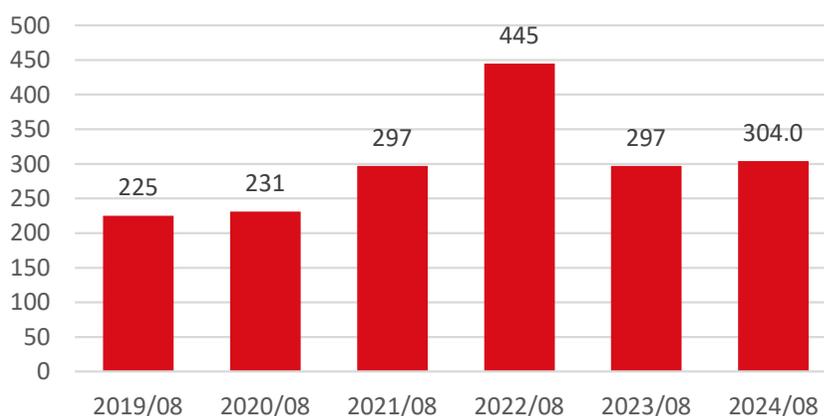
販売管理費(百万円)



減価償却費(百万円)



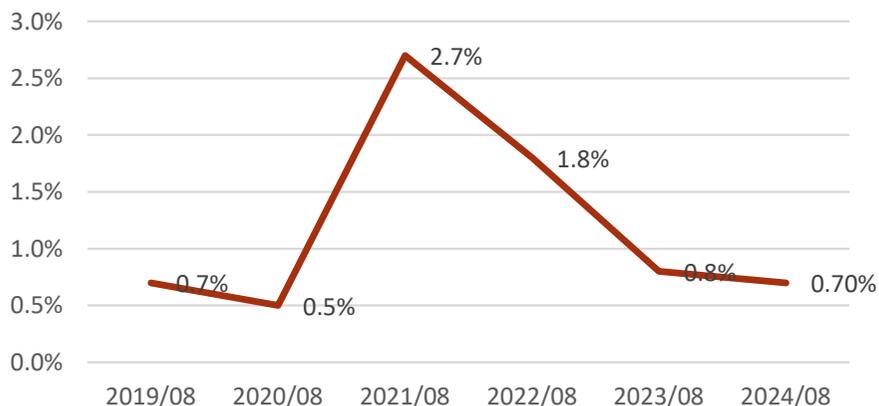
設備投資額(百万円)



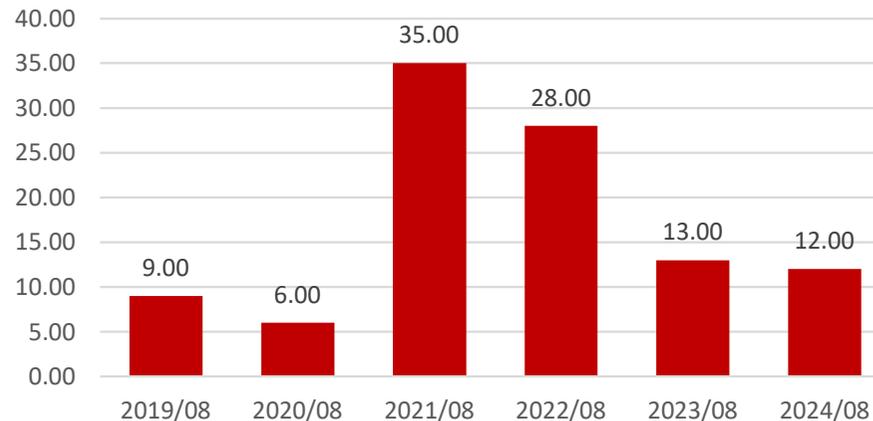
現状分析：株主還元への推移

個人投資家を中心に市場での認知度を高めるため、株主優待も新設。

DOE (%)



一株あたり配当金(円)

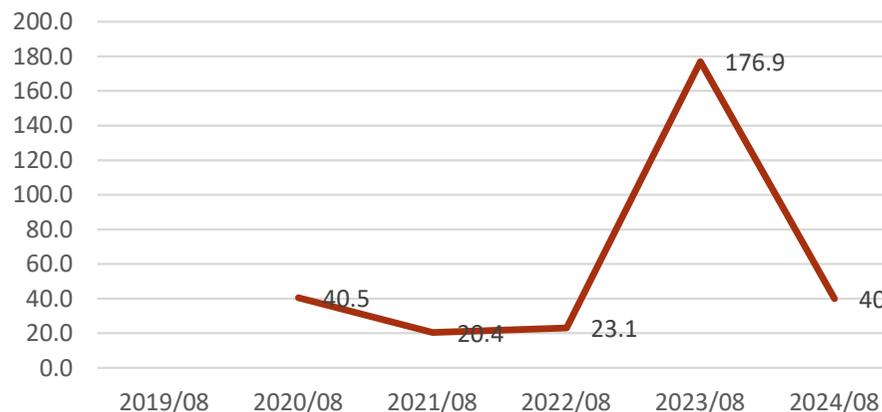


株主優待

| 保有株数 | 優待内容 |
|--------|------------------|
| 100株以上 | Q U Oカード 1,000円分 |

※2024年8月31日現在の株主名簿に記載された株主のうち、当社100株以上を保有されている株主様が対象

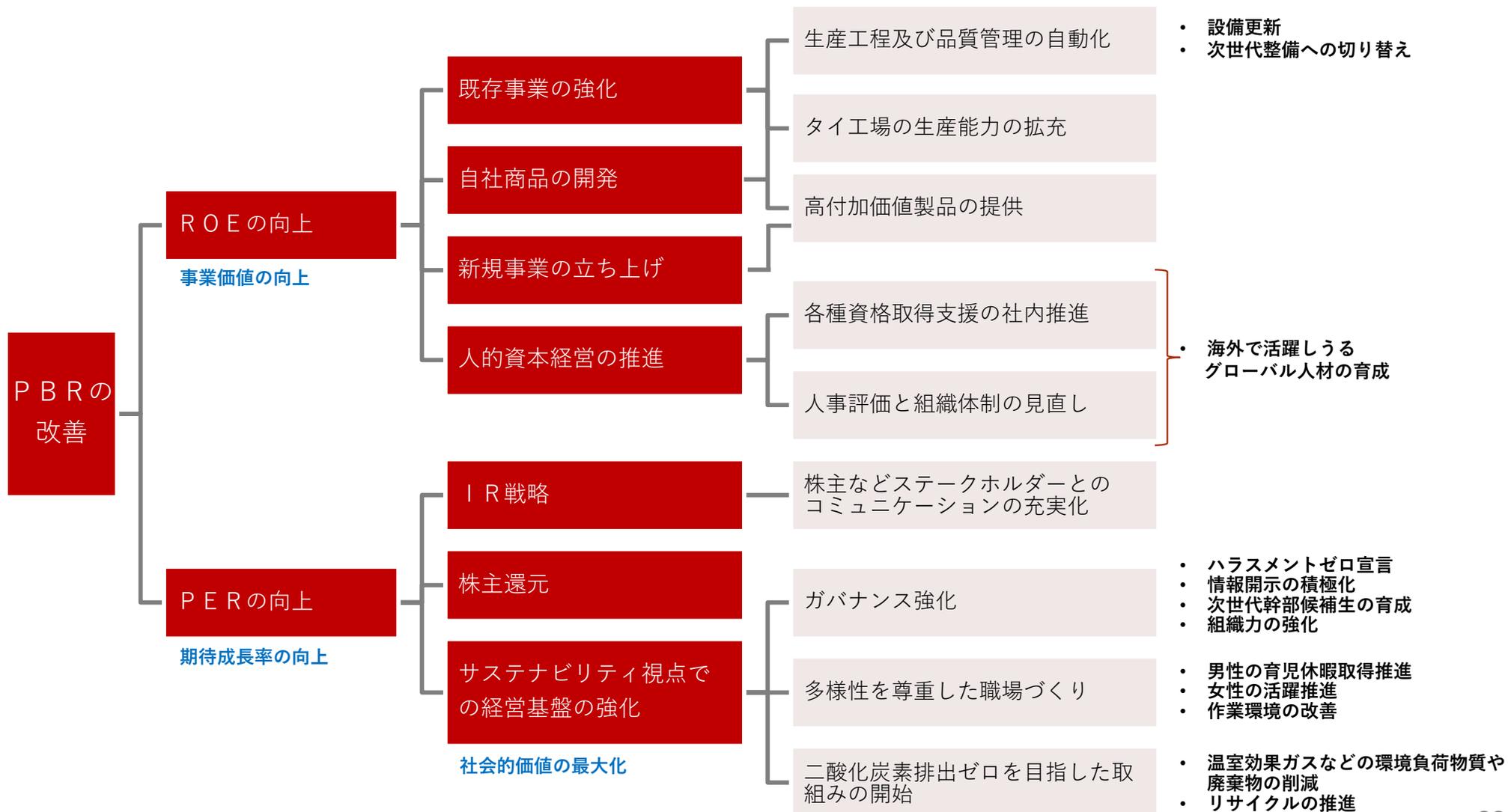
配当性向(%)



企業価値向上に向けた取組み

投資家が期待する資本収益性をあげられていないことに加えて、市場での当社グループの成長性に対する認知度が低いことがP E Rの低迷要因であると分析しております。

現在遂行中の中期経営計画達成に向けた取組みを進めていくことで、中長期的な持続的成長と成長期待度の向上を図ってまいります。



キャピタルアロケーションポリシー

(2023年8月期～2025年8月期の3年間の累計)

将来的な 取組み方針

- 戦略的な成長投資による収益基盤の強靱化
- 財務的アプローチからの効率的な経営の実行
- I R戦略の強化による経営の透明性
- 社内体制の充実化によるガバナンス体制の強化



本資料に関するご注意

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料で提供している情報は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律、東京証券取引所有価証券上場規程並びにその他関連法令、関係諸規則に基づく開示書類または報告書ではありません。
- 本資料の内容については、将来の予測に関する記述が含まれていますが、こうした記述は、本資料の作成日において入手可能な情報に基づいてなされた本投資法人および本資産運用会社の判断に基づいて行ったものです。将来の本投資法人の業績、経営結果、財務内容等を保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては、その正確性及び確実性を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。
- なお、事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止いたします。

お問い合わせ先

総務部

電話番号：（0566）92－4181（代表）

E－mail：y.matsuo@asahikagakukogyo.co.jp

URL：https://www.asahikagakukogyo.co.jp